



令和7年度 活動概要

戦略1:利用者目線での徹底した利便性向上

観光庁の「オーバーツーリズム対策・観光マナー啓発実証事業」に参加

観光客による電停混雑の緩和やバス利用のマナーアップのため、バスへの分散乗車の呼びかけや、バス停案内表示の充実を行います

【事業内容】

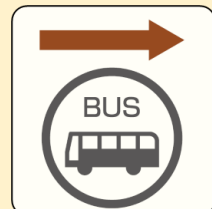
- ①バスでも広島駅にアクセス可能であることを示す路面標示の貼付
- ②バス停の整列乗車を促す徒列ラインの敷設



- ③割込禁止を呼びかけるピクトグラムの掲示



- ④バス停案内表示の掲示



外国人観光客で混雑する原爆ドーム前電停

【期間】

令和7年11月～令和8年2月（予定）

【実施場所】

- ・原爆ドーム前電停周辺歩道（①）
- ・紙屋町（ゲートパークプラザ前）バス停（②③④）
- ・平和公園前バス停（②③）
- ・広島駅南口バス乗り場（③）

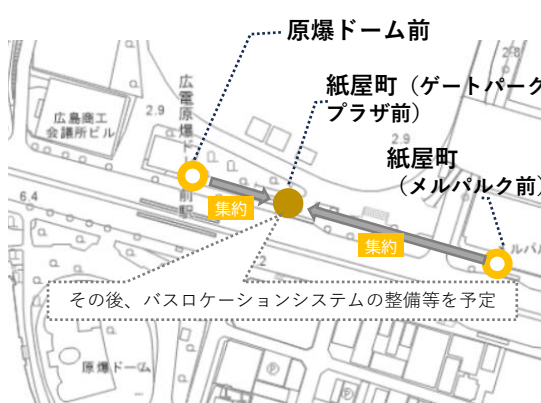
都心部バス停の集約とストレート化

都心部に乱立するバス停を集約するなど、わかりやすさ・使いやすさと快適性の向上を図ります

まずは相生通りから取組をスタートし、現行の約半数程度のバス停に集約することを目指すとともに、ストレート化や待合空間の整備などを推進。後者の取組は鯉城通りへの拡大も想定



今年度から着手(令和8年3月予定)



戦略2:潜在的あるいは新たな移動需要の掘り起こしと利用促進

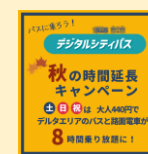
秋のひろしまをバスでめぐるデジタルスタンプラリー

バスを使った休日のおでかけ促進のため、市内各地をめぐるスタンプラリーを開催します



- ・観光、商業などの移動目的となる施設やイベント等と連携
- ・期間中にスタンプを4つ以上集めた人にピンバッジをプレゼント
- ・利便性の高い企画乗車券も提供

デジタルシティパスの利用時間を延長



スタンプラリーへの参加やまちなかでの周遊の促進を狙い、デルタエリア内のバスと路面電車が大人は440円で乗り放題になる「デジタルシティパス」の利用時間を通常の6時間から“8時間”に延長（11月の土・日・祝日限定）

【期間】 令和7年11月1日(土)～24日(月・祝)

【連携団体（順不同）】 minamoa、広島県バス協会、サンフレッチェ広島、広島本通商店街、安佐動物公園、広島電鉄、ひろしまライトアップ事業実行委員会、広島都心会議、広島高速交通

戦略3:需要に応じたサービスを安定的に供給できる持続可能なバスネットワークの構築

高陽地区における持続可能なバスネットワーク構築に向けた実証運行

団地住民の移動傾向を踏まえ、利便性・持続性を高める運行を行います

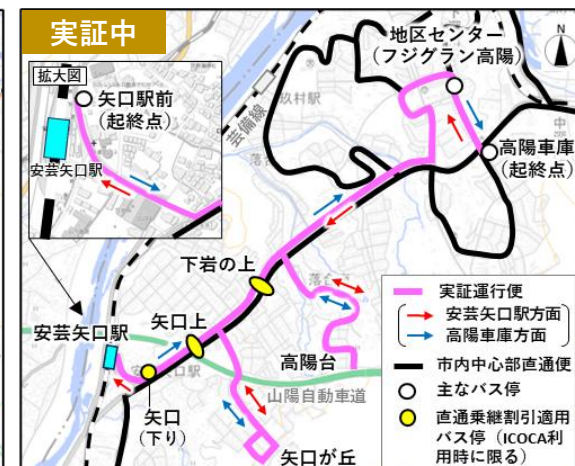
【期 間】 令和7年10月6日(月)～12月30日(火)

【時間帯】 9時台～16時台

- ・地区と都心を結ぶ直通便を、鉄道駅や大型商業施設への接続を図った上で地区内でフィーダー化
 - ・フィーダー区間の増便により空白時間帯を解消
- ⇒ 実証運行の結果を検証し、本格運行を目指す



広島交通とJRバス中国の2社が共同で運行





戦略4:運転者の安定的確保やリソースの共有等による経営の安定化

- ## 戦略5:利用者とのコミュニケーションの強化による信頼関係の構築

- 戦略6: 将来を見据えた新技術等の導入と災害時等におけるレジリエントなシステムの構築

2